

報新團教

定 価 1部 140円 (本体 133円 千共 200円)
 予約購読料 1年分 千共 5,000円
 紙代のみ 3,500円
 振替 00140 - 9 - 145275

本紙を購読ご希望の方は、前金を
 そえて、お近くのキリスト教書店
 へお申し込み下さい。
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 **日本基督教団**
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546
FAX03(3207)3918

発行人 内 藤 留 幸
編集主筆 竹 澤 知 代
印刷所 株式会社きかんし

第 36 総会期

第2回常議員会

1 2 3 4 5 6

?

第36総会期第2回常議員会が、7月6・7日、定例のごとく教団会議室で開催された。開会の祈りの後、蜘蛛膜下出血を病み療養中の原田謙常議員から、夫人の代筆による辞任届が提出されている旨、原田常議員の病状・近況を含めた報告が、山北宣久議長よりなされた。辞任届は承認され、次点者の木下宣世氏を補充することを議決した。

議案1「陪席者」に関する件で、議論があった。石橋秀雄常議員は、教団総会の聖餐式時、菅沢邦明氏が、「別途パンと葡萄酒を配り聖餐を軽視する行為を行った」ことを理由に陪席は認められないとし、個別の陪席者承認を求めた。一括採決すべきという意見もある

り、結果、28人中16人が、個別の承認案に賛成し、菅沢氏については陪席承認は11人に止まり、陪席は否決された。

議事日程承認の議事で、向井希夫常議員（大阪教区議長）提案の、議案30号については、北紀吉常議員よ

り、「議案に本文がない。議案の体裁をなしていない」との指摘があり、議論となった。愛澤豊重総務幹

事も不備を指摘した。そこで、「議案については、形式を事務局で整えてほしい」との意見があり、一方

で二過去に、事務局で整理した際に、越権行為だと批判された。事務局に責任転嫁するな」との意見もあつて、紛糾した。

愛澤幹事は、「事務手続きの準備段階で申し出てほしい」と述べた。

山北議長が、議案の成否についても、議案審議で行

うこととし、今は議事の内容
容審議には入らず議事日程
を承認して欲しいと求め、
承認された。

書記報告について、和田
 献一常議員から、「教団諸委
 員会各委員の選考につい
 て、経緯の説明、手続きに

「い」と意見が述べられた。山北議長は、その手順等について説明した。

長山信夫常議員は、「上田博子幹事辞任の件が載っていない」と、疑念を述べた。内藤留幸総幹事は、これに答えて、本人納得のことで

あると上田幹事辞任の経緯を述べ、今後の教団世界宣教体制について、基本的な

考え方を説明した。
その他、「教団問安使報告

を取り上げてほしい」などの意見が述べられた後、極めて異例な程に多項目、長時間の質疑が行われた書記

報告は、挙手多数により承認された。

総幹事報告でも、多くの項目について、多様な質疑

がなされ、また、書記報告での質疑と重複した。

区活動連帯金は崩壊している」との、刺激的な発言がなされ、議論は一気に加熱した。「教区活動連帯金は重要である。この制度は、教

?

団総会の議決に基づくものであり、保留、参加拒否があつてはならない」という意見が述べられる一方、高橋潤常議員(中部教区議長)は、「教団内の位置付けが曖昧であり、常議員会で協議しないままに継続することに無理がある。教団総会の議決と現在の制度では内容が違ふ」と反論を述べた。長崎哲夫東京教区議長は、紛争の混乱の中で、従来の平衡資金が教区活動連帯金となった経緯や理由について詳細を説明し、「教区間相互連帯ができなくなった」と、東京教区が保留せざるを得ない理由を述べた。

宮崎達雄東中国教区議長は、『崩壊した』という発言は、教団崩壊という印象

を受ける」と危惧を述べた。この後、「自然災害取組はどうなっているか」との質問をきっかけに、過去常議員会で繰り返されて来た、所謂「兵庫教区二次募金」の処理の議論となった。林邦夫兵庫教区議長は、「総幹事に訪問して貰い返還・取り扱いについて協議したい」と述べ、内藤総幹事は、「二次募金を教団に戻してくれるのなら、何時でも訪問したい」と答えた。この間、「決議事項であり協議の余地はない」と言う意見も述べられた。

訴の資格問題について信仰職制委員長に質問した。

岡本知之信仰職制委員長は、「答申を確定したが、まだ発送していない。常議員会で要望があれば配布する」と述べ、当該の松井睦教師委員長が、「答申が確定しているのなら、常議員会で要望があれば伺いたい」と答えたため、岡本委員長は、次のように述べた。「教団教師委員会からの諮問『戒規申立人について』に対する答申に関して、教憲教規に照らせば、誰でもできる。しかしそれは混乱

その他、「問安使報告」、「台湾基督長老教会宣教協議會」、「北村慈郎常議員への勸告についての報告」、「東海教区諮問に対する答申」等で質疑が続く、当初の時間で配分に支障を来すほどに超過したため、質疑も足早になった。

するので規定が必要である」。

「戒規乱用が懸念される」という反論に対しては、「戒規は裁判手続きとは違つ。相手との対話である」と説明した。

総幹事報告は承認された。

（新報編集部報）

直ちに退出してしまった。
こうした緊急事態を受け
て、総務幹事の慰留も含め、

対応は三役と総幹事に委ねられることとなった。

(藤盛勇紀報)

?

：柵はいがみあつたためのものじゃなくて、仲良くやつていくためのものだ。『豚の死なない日』ロバート・ニュートン・ペック、白水社。▼隣人との交際にこそ、はじめが、ルールが必要だ。我と彼との明確な境目を持つことこそが、真に相手を重ねじることだ。▼虹は、真反対にある二つのものを結ぶ、天国と地上をさえも結ぶ。何もかも一つにならなくとも、虹で結はれてゐるからこそ、互いを隔てる柵を設けることもできる。

お知らせ
「教団新報」、今号46
80・81号を合併号と
し、4682号は9月12
日に発行致します。

総幹事 内藤留幸

▼雨上がりの午後、東の空に虹が現れた。完全な円弧をなし、しかも外輪と内

第 36 総会期
第 2 回常議員会

教？

常任常議員会の設置を決議

二日目午前のセッションで、議長提案による常任常議員会の件が上程された。山北議長は「何度が常議員会で提案してきている。しかし状況の把握の差異、中央集権的との批判、地方分権を戻すのかという懸念があつて実現しなかった。しかし、昨日来の状況を鑑み、四役一任によって教務を遂行することに限界がきている。今回のことはそのことの証左である。7ヶ月も常議員会がないまま、教務遂行が幹事に委ねられて、この弊害が露呈していることの弊害が露呈している。常議員会が担うことで、常議員会の本来の機能を回復させることが必要」との賛成意見の一方で、「常議員会は教規上2月、10月だが、7月にも開催することです。柄に対処してきた。その状況とこれが違うのか」「教団はどのような教会であるのかある程度のコセンサスができるまでは、できる限り開かれた会議を持つことが必要」「開かれた会議が必要、常任常議員会は中央集権に陥りやすい」との反対意見が出された。加えて、提案理由の「状況と諸課題」との表現をめぐり「教規に定められていることを大きく超えているのではない

か」との指摘があつたが、議場は「議案の表現にかかわらず、教規37条に拘束される」ことを確認した。採決の結果、賛成多数で可決した。候補者選考は三役一任となり、選考案審議の上、以下の通り選出した。石橋秀雄、後宮敬爾、小

「キリスト教教育主事認定試験の経緯を明らかにする件」は、3月10日に行われた第48回キリスト教教育主事認定試験の結果を不服として認定の無効を求めるものである。認定試験として過去225人が受験しているが、『不合格』の通知を受けた人は一人も存在しない、『認定』試験でありながら、教規に反して『検定』試験化されてしまった疑義がある」とする。常議員会第1日目、議事日程承認にてまず本議案の体裁が議論となった。常議員会開催前に大阪教区常置委員会より送付された議案には、議題と提案理由の記載のみで何を審議するかが分からず議案として不備である、とされた。議論を経て、向井希夫常議員によって議案が整えられて提案されることとなった。結果、『認定試験の経緯を明らかにするために、常議員会の

諸課題および緊急やむを得ない事項の処理にあたらせることが記されている。現在の教団が置かれた状況と担っている諸課題、また緊急性のある事項を処理し、教団の運営を円滑に進めるためには、常任常議員会を組織することが必要と考える。費用については常議員会費より支出する。＊教規第37条 ①教団総会議長、副議長、書記および常議員の互選に

キリスト教教育主事試験巡り議論

もとに小委員会を設置する」という提案となった。提案理由は依然、もし今回の認定試験の経緯に疑義が確認された場合には、常議員会名において『不合格』の結果を無効とすることを要望する」とされた。第2日目、最後30分に本議案が上程、審議された。提案理由で向井常議員は、試験を実施した教育委員会の認定試験についての認識を問い、再レポート提出等の手続不備、受験者の受けた不利益等を訴え、教会的配慮の中で試験が行われていない、とした。この提案に対し、個人の試験結果を常議員会で公開審議することへの反対、受験者のプライバシーに配慮

よる者7名をもって常任常議員会を組織する。②常任常議員会は、教団総会議長の承認または同意事項のうち重要事項、常議員会から委託された事項および緊急やむを得ない事項を処理する。③常任常議員会の処理事項は、次回常議員会に報告し、その承認を受けなければならない。④第33条の規定は、常任常議員会につき準用する。 (林牧人報)

？

第2回伝道委員会

第36総会期の第2回伝道委員会が6月29日(月)と30日(火)、我孫子教会(29日)、北柏めぐみ教会(30日)にて開催された。伝道委員会は、開拓伝道援助金等で応援させて頂いた諸教会を訪問し、御言葉と共に聴き祈る時を大切にしている。今回も両教会の歴史と会堂建築の証しを伺い、主の

尊い御業を覚えて大きな喜びを与えられた。今回は、北紀吉師(前委員長・愛宕町教会、安藤肇師(隠退教師)を招き、初日に発題・講演をもった。北師は「伝道委員会の課題」について「従来の教団宣教論が破綻し、本来の教会の使命である伝道の復権が問われている。今後は伝道委員会が伝道企画、伝道

立運動(朝鮮半島、五・四運動(中国)の90周年を心に刻むべきである。日本の教会は自国の罪責を感覚し、逃避せる責任を記憶し、隣隣せし人道を反省し、太平洋戦争中の戦争責任を誠実に反省し、国家の良心としての教会とならなくてはならない」と述べた。第7回「農」に関する協議会に関する件では、2010年2月22日(月)と23日(火)に開催し、協議会場をアジア学院、委員会提出されることになった。 (石田昌路報)

試？

震？

①第67回北海教区定期総会(2007年4月)に提出された「訴願」問題の解決について、今後なお誠実に対応していきたい。②十年来、作成を進めてきた「日本基督教団罪告白」試案ができあがり、今後一年間かけて、各個教会的告白へと降りしていく。③「にじのいえ・信愛荘」合併委員会を立ち上げ、全国募金を働きかけていく。教団の隠退教師のための施設として、教団センターにあたるものと認識している。④6月28日に西東京教区創立10周年の記念礼拝を行った。⑤「にじのいえ・信愛荘」は西東京教区内の青梅市にあるので、東京教区に協力していく。⑥不登校・ひきこもりの青少年やその家族と共に歩む小委員会を宣教部のもとに設置する件を教区総会で可決。⑦キリスト教教育主事の働

きの場が確保されていない状況があり、その養成と働き場について検討していく。⑧2004年に発覚した前嘱託職員による会計横領のうち、全額の62パーセントにあたる791万円が弁済された。今後なお慎重に対処していく。

各教区総会が開催された直後の常議員会に当たったため、沖縄を除く全教区から報告がなされた。1教区3分と時間が制限されたが、律儀に守る所あれば大幅に超過する所もあり、また、書面での報告も、様式・字数が不統一であった。参考になるかと考えて、配布された印刷物に基づき、教区議長の発言を拾い上げて一覧表にしてみた。特定の意図のもとに編集したのではなく、機械的に置いたに過ぎない。しかし、自ずと見えて来るものがあるように思う。 (秋葉恭子報)

教区名	北海	奥羽	東北	関東	東京	西東京	神奈川	東海	中部	京都	大阪	兵庫	東中国	西中国	四国	九州
課題																
機構改変及び活動の見直し	○			○							○	○	○	○	○	○
財政の見直し(活動連帯金・負担金問題含)	○	○	○		○						○	○	○	○	○	○
謝儀基準・制度の見直し	○	○		○						○	○			○		
互助関連	○	○		○		○		○			○			○	○	○
キリスト教センターの宗教法人化		○	○			○			○	○		○				○
伝道・宣教協力(教勢衰退含)	○	○	○	○		○		○					○			○
教団年金関連				○		○										
聖餐問題			○			○	○				○					
差別・人権問題			○	○						○	○	○	○	○	○	○
災害支援・再建				○					○			○				
対教団(合同の捉え直し・問安使受含)	○	○								○		○	○	○		○
その他	①			②	③	④⑤				⑥		⑦⑧				

＊沖縄教区については、教団と距離を置くことをしているので、報告書を提出しない旨、山北議長宛にメールにて連絡があった。したがって、上記の表には掲載なし。



？

？

『障がい』を考える小委員会

6月14～15日、第36総会期第1回「障がい」を考える小委員会が教団会議室において開催された。

篠浦千史委員長司式による開会礼拝をささげて後、委員・担当幹事が自己紹介を行った。

その後、委員会組織を行い、委員長が篠浦千史委員（宣教委員会委員）であること確認し、書記に加藤幹夫委員を選出した。

そして、前総会期委員会からの申し送り事項と現在の会計状況の確認がなされた。特に委員会の名称が「障害者差別問題小委員会」から『障がい』を考える小委員会に、教団総会の議決によって変更されたこと

について、篠浦委員長より報告された。

主な協議事項は、次の通りである。

「障がい」を考えたゆく上では、見える障がいによる苦しみだけでなく、心を病む苦しみが大きな課題である。とりわけ牧会者とその家族の精神的なケアについて考えることは、教会にとって焦眉の課題となっている。そのような課題を共有することを目的とした「全国交流会」の開催に向けて、検討と準備を進めていくとした。

また、精神障がいについて広く学ぶためのときを次回委員会の中で持つこととし、加藤幹夫委員より発題



？

？

第2回信仰職制委員会

第36総会期の第2回信仰職制委員会が6月22日（月）～23日（火）に、委員7名

全員の出席のもと教団会議室で行われた。

今回、以下の3つの諮問に対して全会一致で答申が出された。その要旨は、

①「カトリック司祭の教師転入について」教師検定委員会からに対しては、1. カトリックの叙階は、職制とその理解が異なる当教団においては按手礼受領とみなすことは出来ません。従って、教師転入することは出来ません。2. 当教団の教師となるためには、信徒として転入し、その後当教団の定める手続きに従って准允・按手を受けなければなりません。

②「教団教師が他教派（単立を含む）の牧師となることについて」神奈川教区からに対しては、1. 当教

はなく、理論上は誰でも要請主体になることが出来ます。しかし、そう解することによって生じる混乱を回避するため、先例集九六は必要に応じて答申されたものと解されます。2. 従って、先例集九六はあくまで暫定的な実務上の指針に過ぎず、教憲教規・諸規則と同等の効力を有するものではありません。3. しかし、正式な規則が定められていない以上、これが定められる間存在意義があります。4. 正式な発議機関が新たな規則を作る場合にも、法的には先例集九六に縛られることなく、これと異なる内容が規定することも許されます。

次回委員会は、9月28日（月）～29日（火）の予定。（？報）

消息

竹内良雄氏（隠退教師）

6月30日、逝去。91歳。京都府に生まれる。'43年日本神学専門学校を卒業後、'48年宇佐見教会に赴任、網代、富士、田浦、松沢、小田原教会を経て、'82年から西千葉教会を牧会し、'89年隠退した。遺族は、娘・佐藤美和子さん。

吉田満穂氏（隠退教師）

7月7日、逝去。91歳。

事務局報

教師異動

聖学院	辞代	菊地 順
〃	就	主東野尚志
松山	辞	主寺田恵英
〃	就	主指方周平
元浦河	辞	代相澤眞喜
〃	就	主寺田恵英
浦河	辞	代山本光一
〃	就	兼主寺田恵英
坂出大浜	辞	代田中暉彦
〃	就	主上野清次郎
四国学院大学	辞	教堀 剛
月寒	就	主石垣弘毅
手稲はこぶね	就	担佐藤紀子
春採	就	主田村毅朗
千歳栄光	就	担中野 円
千里丘	就	主五十嵐高博
〃	就	担五十嵐悦子
熊取	就	主竹田常司
マフナ・タ		

大学教員募集

◎所 属 四国学院大学総合教育研究センター
◎担当分野 キリスト教学
◎採用人員 1名
◎採用期間 2010年4月1日～2012年3月31日

◎応募資格

- ①大学院修士課程修了者、もしくは、それと同等以上の業績を有すると判断される者
- ②四国学院大学学則第1条に賛同する者
- ③洗礼を受けた福音主義キリスト者で、忠実に教会生活を守っている者
- ④英語圏での研究・留学経験がある者、あるいは英語運用能力がある者が望ましい。

◎応募締切 2009年9月17日（水）必着
注：必ず事前に本学ホームページ

（http://www.sg-u.ac.jp/）にて募集要項を手・参照した後、応募をお願いいたします。

◎問 合 せ

〒765-8505 香川県善通寺市文京町三丁目2番1号
学校法人四国学院法人事務部総務課
TEL 0877-62-3969（直通）
E-mail:soumu@sg-u.ac.jp

英国メソジスト教会 研究・研修奨学生公募

（2010年9月期）

◎資格…日本基督教団に籍のある信徒・教職

◎募集奨学生…若干名（全世界より応募あり）

◎応募期限…9月1日

◎問い合わせ先…教団事務局内、国際関係委員会
（TEL 03 - 3202 - 0544）

〃	辞	代村上恵理也	原田 謙
〃	就	主久下倫生	法人設立
豊中	就	担大住共平	花小金井
東梅田	就	担満仲 弘	教会解散
南大阪	就	担中村奈津子	舞子
茨木	就	担米山恭平	教会種別変更
大和キリスト	就	担大澤正芳	元浦河 第一種から第二種へ
〃	就	担大澤みずき	教会所在地名変更
更生	就	代山岡 磐	岡山 岡山市北区中山下1
杉並	辞	代田口重彦	10-18
〃	就	主安部一徳	旭東 岡山市東区西大寺中
東京女子大学	就	教棚村恵子	2-25-18
同志社女子大学	就	教才藤千津子	2-15
同志社小学校	就	教中川好幸	赤磐 岡山市東区瀬戸町下
〃	就	教西田町辞	532-12
京都西田町	就	主信岡茂浩	十文字平和 岡山市北区日
〃	就	代中山好幸	近954
福岡警固教会を経て、02年から天満教会を牧会した。遺族は、妻・伊勢信子さん。	就	主信岡茂浩	岡山信愛 岡山市中区御成
〃	就	主山田雅人	町12-16
〃	就	主大藪朝祥	岡山聖心 岡山市北区番町
〃	就	主吉武二郎	1-10-8
〃	就	主田東 宏	
〃	就	主澤村雅史	
〃	就	主筒井信行	
〃	就	主近藤野百合	
小林 晃雲居玲子	教師隠退		
出口光子、川上 潔	小林 晃雲居玲子		
渡辺正男	渡辺正男		
篠田真紀子	教師休職		

青年担当者会の開催案内
教団教育委員会では、標記の会を開催します。各教区の青年担当者は、是非ご出席ください。

◎日時 8月31日（月）午前10時より

◎会場 教団会議室
詳細は、教団教育委員会まで、お問い合わせください。

訂正・お詫び
教団新報4679号、3面、事務局報中、「いずみ辞（主）岡本拓也」の項で、（主）を、（担）に、お詫びして訂正致します。

岡山博愛会 岡山市中区御幸町4-25
福岡城東橋 福岡市中央区浄水通3-18

平和メッセージ

指紋採取をやめさせよう

2009 年平和聖日

日本基督教団 総会議長 山北宣久
在日大韓基督教会総会長 鄭 然 元

「テロ」の未然防止を目的とした「入管法」(出入国管理及び難民認定法) が改定され、一昨年 11 月 20 日より実施されるようになりました。その内容は、日本に入国・再入国する 16 歳以上の外国人(特別永住者や外交官などを除く)に指紋と顔画像を登録させるというものです。

主イエスの十字架の意味を思いつつ、キリストに従うことを告白する私たちは、「隔ての壁・指紋押捺」を再び強制させるこの入管法改定に反対することを表明いたします。

1980 年、一人の在日コリアン 1 世が指紋押捺拒否を行ったことを皮切りに、在日外国人に対する管理・抑圧の象徴であった「外国人登録法」(外登法)の指紋押捺制度に対する反対運動が起こり、多くの在日外国人が指紋押捺拒否という形で、日本の中にある差別や偏見を問い始めました。指紋押捺拒否を行う者の中には、日本で生まれ育った 14 歳の中学生や 16 歳の高校生の在日 3 世たちもいました。彼ら彼女らにとって「指紋押捺」は、自分たちが生まれ育った社会や日本人の友人たちと自分たちとを隔てる壁だったのです。

この在日の痛みの叫びに応え、指紋押捺拒否運動を全国各地で一斉に行うなど、宣教の働きとして祈りの中でこの運動を私たちは担ってきました。その活動によって私たちが目指したことは、日本人と在日外国人を隔てる壁をイエスの十字架によって崩すことであり、国籍に関係なくすべての人が「神の子」としての尊厳が与えられる社会と主の平和を実現することでした。さまざまな人たちの忍耐強い取り組みと祈りの結果、2000 年 4 月に外登法の指紋押捺制度は全廃されました。

しかし、その「指紋押捺」を、日本政府は、今度は入管法において復活させました。私たちは、入管法改定はさまざまな点で問題を含んでいると考えています。たとえば、日本政府は、登録された指紋を生涯にわたって保管し、法案の趣旨である「テロ」の危険性のある人物の入国防止以外の使用も公言しています。これは、法の目的外使用と

なり、認められるものではありません。

また、外国人だけから生体情報を採ることは、外国人はテロリストかもしれないという偏見を助長するものだと言えます。外登法の指紋押捺制度に反対した際、多くの在日外国人たちが、指紋押捺は自分たちを「犯罪者予備軍」と見なすものであり、人間としての品位と尊厳を傷つけるものとして反対しました。今度の入管法による指紋押捺では、外国人を「テロリスト予備軍」と見なすことになり、外登法の場合と同様、外国人の人間としての品位と尊厳を傷つけるものです。また、人種差別・外国人嫌悪の助長をうながすことにつながるものです。

とくに、私たちが危惧することは、こうした法改定が「テロ」防止の名のもとに、日本国民の不安を煽りながら進められているということです。私たちは政府が日本国民の不安を煽った例を関東大震災に見ることができます。大震災時、日本国民が不安にある中、政府が積極的に流したデマによって、多くの在日朝鮮人の命が失われました。私たちは、そのような歴史の教訓から、政府が人びとの不安を利用することに危惧を覚えると共に、私たちキリスト者がそのことに対して、「見張り」の役割を積極的に担い、警鐘を鳴らさなければならないことを学んできました。

私たちは、多くの人が行き来する世界にあって、また、多くの外国人が地域の住民となりつつある日本社会にあって実現されるべきは、多民族・多文化の共生社会であると確信しています。そして、そのような社会の実現のために必要なものは、指紋押捺でなく、日本人と在日外国人を隔てる壁を崩していくことであると信じています。

私たちは、「入管法」を再び改正し、日本に入国する人たちが指紋採取と顔写真を撮影されなくて済むように、そしてさらに「外国人住民基本法案」の制定のために祈っていきます。それは、私たちが住む国の平和の柱を形造ることと直結していると信じるからです。

私たちキリスト教会は、2009 年 5 月 13 日「入管法の改定案に反対するキリスト教会共同声明」を公表しました。

「実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律すぐめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました」(エフェソ書 2 章 14 ～ 16 節)

?

第2回宣教研究所委員会

6 月 29 日(土)30 日に第 36 総会期第 2 回宣教研究所委員会が開催された。
本委員会では「宣教基礎理論」と共に「宣教基本方針」も並行して作成を目指しており、今回は各委員が具体的な宣教方策について意見を出し合った。出された意見を委員長が以下のようまとめた。
新たな宣教方策について考える際に、伝道の御業の担い手であると確認された教会を次のように考える。
従来、教会は信仰を持った個人が礼拝に集う場ととらえがちであったが、教会は礼拝を中心とした信仰共同体としてとらえる。信仰を個人的な事柄から共同体的な事柄とし、信仰の養いを個人的な事柄から共同体的な事柄としてとらえる。
例えば、このような受け止め方から展開される一例を挙げると、会員子弟への信仰継承である。信仰を個人的にとらえる場合には、親のみがそのことに対して責任を感じることとなりがちである。しかし、信仰及び信仰の養いを教会という共同体の事柄としてとらえる場合には、その受け止め方が変わってくるようになる。
宣教基本方策を考える際の基本的な考え方については、次のような道筋が委員長から示された。個々の宣教方策を①教会への招き、

?

第2回在日韓国朝鮮人連帯特設委員会

第 36 総会期第 2 回委員会は 6 月 30 日に開催、欠席者はなく全員が出席した。
まず始めに小橋孝一委員長は、前回委員会で在日大韓基督教会の朴寿吉総幹事について報告し、委員会を招き、今期新たに組織された当委員会との交わりを深めながら在日大韓基督教

置つけが曖昧なまま進められたきらいが無いとは言えない。
しかし、具体的な宣教を教会からの派遣と位置付け、更に宣教の現場では、神との和解を与えられた信仰者の証しの働きとして捉えることができないかを今後の検討課題としている。
当委員会では「信仰問答」の作成についても取り組みを始めつつある。
(長谷川洋介報)

9 日に開催された「第 43 回在日大韓基督教会と日本基督教団との宣教協力委員会」につき報告がなされた。
特に当委員会から出席した小橋委員長は、2 日目に自身が行った発題の内容について詳しく報告し、それを受けてしばらく協議の時間を持

嵐の中で
祈り抜いた人

91 年間の生涯を全うし、その絶えざる祈りの聞き手の方の許に凱旋された元教団総会議長 吉田満穂牧師の葬儀に列した。
翌 70 年 1 月の常議員会で高崎毅副議長が辞任。このあとを受けて葉の我孫子に転じての 19 年間も多くの教会で礼拝説教をなしつつけられ、福音伝道に捧げきった生涯であられた。
しかし深く広い牧会伝道のお働きに従事することを時代は吉田満穂牧師に許さなかった。
1969 年、第 16 回臨時総会はいわゆる九・一一の徹夜討論集会での要求を受け入れて開催され

まさに「荒野の 40 年」の渦中に議長として、72 年 8 月辞任するまで身を削って教団形成に尽力された。本当にご苦労であった。
教団総会議長でありつつ、総会で選任もされず、総会を開催することもできなかった。
しかし嵐の如き教団の混乱の中で、み言葉を宣べ伝える教団、歴史を変え神の真理に堅く立つ群れでありつづけるために自ら立ち、忍耐し、教団を守り続けられた。この祈りに裏打ちされた闘いは不滅である。
(教団総会議長 山北宣久)